

患者さんへの臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科では、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

臨床決断分析を用いた骨髄線維症に対する速やかな HLA 適合移植と Ruxolitinib 使用後の移植の比較

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科 教授 神田善伸

【研究の対象となる方】

骨髄線維症に対して同種造血幹細胞移植を行った 16 歳から 65 歳までの患者さんです。

【研究の目的・方法】

骨髄線維症を根治するには同種造血幹細胞移植が必要ですが、移植による早期死亡率が他の疾患よりも高いとされ、リスクが伴います。一方で骨髄線維症は急性白血病に移行する可能性もあり、どのような患者さんに移植を行うのがよいか、明確な基準はありません。

近年、分子標的薬の Ruxolitinib (ジャカビ錠) が骨髄線維症に対して用いられるようになり、生存期間を延長するとの報告もみられるようになりました。適切なドナーさんがおり、移植適応の年齢の患者さんに対して、初めから移植を行うのがよいか、まずは Ruxolitinib を使用して再発後に移植を行うのがよいか、それぞれの予後を比較します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

既に報告されている下記の論文からデータを収集します。

Blood, 2005, 105, 973-977

Biol Blood Marrow Transplant, 2010, 16, 555-559

British Journal of Haematology, 2013, 162, 229-239

J Clin Oncol, 2013, 31:1285-1292

Blood, 2014, 124, 1183-1191

Haematologica, 2015, 100, 1139-1145

Leukemia, 2016, 30, 1701-1707

Biol Blood Marrow Transplant, 2016, 22, 2208-2213

Biol Blood Marrow Transplant, 2019, 25, 1536-1543

Transplantation and Cellular Therapy, 2021, 27, 873.e1-873.e13

【外部への試料・情報の提供】

なし

【研究組織】

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科

【研究期間】

この研究の期間は、許可決定後から 2024 年 12 月 31 日までです。

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料の内容をお伝えすることが出来ますのでお申出ください。

また、既に発行されている論文に記載の情報をを用いるので、仮に情報漏洩が発生した場合でも不利益が生じることはありません。何かございましたら下記の連絡先までお申し出ください。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

Tel.048-647-2111

研究担当者：血液科 神田善伸

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター

総務課 Tel.048-648-5225